



東海大学大学院
医学研究科

教員紹介

領域(医学部組織)
総合診療学系小児科学

専門分野キーワード
小児科学、免疫・アレルギー学、臨床検査医学

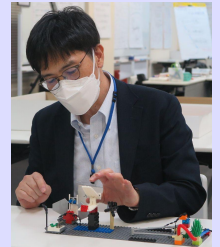


教員氏名 山田 佳之(やまだ よしゆき)
取得学位 博士(医学)
現在の身分 総合診療学系小児科学 教授
(役職名)
専門分野 小児科学、免疫・アレルギー学、臨床検査医学
現在の研究課題 好酸球・アレルギー疾患の病態解明
所属学会 日本小児科学会、日本臨床検査医学会、日本アレルギー学会、

International Eosinophil Society (IES)、日本臨床検査専門医会、米国アレルギー喘息免疫学会(AAAAI)、アレルギー・好酸球研究会、日本アレルギー協会、日本小児アレルギー学会、日本小児リウマチ学会、米国血液学会(ASH)、日本小児血液・がん学会、日本感染症学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、日本小児外科学会、日本環境感染学会、食物アレルギー研究会、日本小児科学会神奈川県地方会

研究内容

アレルギー・好酸球性炎症性疾患に関わる研究に従事している。臨床分野では、好酸球性消化管疾患・消化管アレルギーを中心に国立成育医療研究センター、群馬県立小児医療センター、Cincinnati 小児病院メディカルセンター、千葉大学、関西医科大学、かずさDNA研究所と共同研究を行っている。特に近年はアレルギー・好酸球性炎症性疾患におけるプロテオーム解析をすすめている。また、関連のガイドラインや手引きの作成に参画し、執筆だけでなく、システマティックレビューやガイドライン作成についても取り組んでいる。さらに、医工連携チームを組み、心音の画像解析の研究も継続している。基礎研究としては、東京大学工学部との共同研究においてマイクロファイバーを用いた細胞分離や炎症性分子の除去(血液浄化療法)の研究、また、ラットを用いた体外循環モデルを樹立し、同志社大学との共同研究として、一酸化炭素(CO)中毒による心肺停止からの新しい蘇生法の開発(川口 章 客員教授)。またマウスモデルでのCOの表在性創傷治癒における効果の検討(川口 玄 客員講師)を行っている。そして、長年、ウイルス感染と気管支喘息の研究に取り組んできた(加藤 政彦 客員教授)。さらに教育分野では、LEGO® Serious Play®ファシリテータの資格を取得し、LEGO® Serious Play®を応用した医療者(学生含む)の学習・研鑽意欲向上のための動機付け可視化手法の開発を行っている。



主要論文

1. Yamato G, Tsumura Y, Muramatsu H, Shimada A, Imaizumi T, Tsukagoshi H, Kaburagi T, Shiba N, Yamada Y, Deguchi T, Kawai T, Terui K, Ito E, Watanabe K, Hayashi Y. Cytokine profiling in 128 patients with transient abnormal myelopoiesis: a report from the JPLSG TAM-10 trial. Blood Adv. 2024;8(12):3120-9.
2. Suzuki H, Morisaki N, Nagashima S, Matsunaga T, Matsushita S, Iino A, Tanaka Y, Nishimori H, Munakata S, Kemmochi M, Murakami Y, Sato M, Toyokuni K, Yamamoto-Hanada K, Morita H, Fukuie T, Yamada Y, Ohtsuka Y, Arai K, Ohya Y, Saito H, Matsumoto K, Nomura I. A nationwide survey of non-IgE-mediated gastrointestinal food allergies in neonates and infants. Allergol Int. 2024;73(2):264-74.
3. Kawaguchi AT, Salybekov AA, Yamano M, Sumiyoshi H, Kawaguchi GT, Matsuda S, Sekine K, Shibata M, Yamada Y. De novo Biological Coronary Artery Bypass in a Rat Model: Case Report and the Concept of Hybrid Cardiovascular Regeneration. Medical Research Archives; Vol 12 No 2 (2024): February issue, Vol12, Issue 2DO - 1018103/mrav12i24992. 2024.
4. Yamada Y. Recent topics on gastrointestinal allergic disorders. Clin Exp Pediatr. 2023;66(6):240-9.
5. Kram YE, Sato M, Yamamoto-Hanada K, Toyokuni K, Uematsu S, Kudo T, Yamada Y, Ohtsuka Y, Matsumoto K, Arai K, Fukuie T, Nomura I, Ohya Y. Development of an action plan for acute food protein-induced enterocolitis syndrome in Japan. World Allergy Organ J. 2023;16(5):100772.

○独自に作成されているホームページ URL

<https://yyamada.med.u-tokai.ac.jp/>

